

令和4年度後期授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	面接授業 (教室間中継)	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
1	後期	選択	1	社会分析の基礎	* 銭廣	○		8	毎講義後提出のコメントシートの記述10%、期末レポート90%	変更なし
1	後期	選択	1	人間と宗教	* 鶴	○		8	1) 「定期課題」 (授業期間中: 4回) : 40% 2) 「期末課題」 (授業終了後: 1回) : 60% ※ 初回授業で詳しく説明するので、必ず出席すること。欠席する (した) 場合は、メールで連絡すること (☞ shinichi_tsuru@nifty.com)。	変更なし
1	後期	選択	1	文化人類学	* 中本	○		8	講義での姿勢およびリアクション・ペーパーの評価 (50%)、定期試験の結果 (50%)	変更なし
1	後期	選択	1	倫理と社会	阪本	○		8	・毎回の授業課題 (期限内の提出、回答内容の独創性と論理性) … 70% ・最終回の授業内試験 (論述問題) … 30%	変更なし
1	後期	選択	1	コーチング論	当麻	○		8	授業内で提出するレポート (60%)、小テスト2回実施 (40%)	変更なし
1	後期	選択	1	スポーツ・運動2	当麻	○		8	身体活動量の確保、技能の向上 (50%)、コミュニケーションの度合い、マナー、礼節の実践 (50%)	変更なし
1	後期	選択	1	情報科学	* 林武文・* 下川・* 土井麻理子	○		8	各担当者が、それぞれの持ち分で100点満点の評価を行う。最終評価は、担当回数の荷重平均 (100点満点) とする。 ・林 (2回) : 毎回授業中に小テストを実施する。比率は、小テスト1回目: 50%、小テスト2回目: 50%。 ・下川 (4回) : 毎回レポートを課す。比率は、各回とも25%。 ・土井 (2回) : 毎回小テストを実施する。比率は、小テスト1回目: 50%、小テスト2回目: 50%。	変更なし
1	後期	必修	1	物理学2	竹本		○	8	定期試験 (70%) とレポート8回 (30%) により評価します。	変更なし
1	後期	必修	1	数学2 (永田クラス)	永田	○		8	課題 (レポート、リアクションペーパー) 20% と定期試験80% で評価する。	変更なし
1	後期	必修	1	数学2 (竹本クラス)	竹本	○		8	定期試験 (70%) とレポートまたは小テスト8回 (30%) により評価します。	変更なし
1	後期	必修	1	英語リスニング2 (田邊クラス)	田邊	○		12	中間テスト・期末テストの結果 (60%) と発表・積極的な発言 (40%) により評価する。	変更なし
1	後期	必修	1	英語リスニング2 (神前クラス)	* 神前	○		12	期末テスト60%、平常点40% (授業内課題20%、学術用語小テスト20%)	期末テスト60%、平常点40% (ワークシート課題10%、グループ点10%、学術用語小テスト20%)
1	後期	必修	1	英語リスニング2 (田尾クラス)	* 田尾	○		12	・ワークシートA①~④/B①~④/C①~③ (40%; 上記の目標①②に関連) ・プロジェクト1: 個人英語プレゼンテーション (30%; 上記の目標②③に関連) ・プロジェクト2: グループ英語プレゼンテーション (30%; 上記の目標②③に関連)	・毎授業のワークシート (40%; 上記の目標①②に関連) ・プロジェクト1: 自己紹介 (個人) 英語プレゼンテーション (30%; 上記の目標②③に関連) ・プロジェクト2: グループ英語プレゼンテーション (30%; 上記の目標②③に関連)
1	後期	必修	1	英語リスニング2 (楠瀬クラス)	* 楠瀬	○		12	A. 授業での口頭発表などの活動30% (3点x12回=36点) B. ディクテーションテストおよびレポート合わせて70% (7点x12回=84点) (A+B) x 100/120で評価する。定期試験は実施しない。	変更なし
1	後期	必修	1	英語リーディング2 (田邊クラス)	田邊	○		12	中間テスト・期末テストの結果 (60%) と発表・積極的な発言 (40%) により評価する。	変更なし
1	後期	必修	1	英語リーディング2 (井上クラス)	* 井上径子	○		12	定期試験結果 (60%) 授業貢献度 (小テスト、予習、発表状況など) (40%) なお、コロナ感染拡大状況によって、オンライン授業が部分的、または全面的に導入された場合、定期試験を中止し、課題で評価する可能性がある	変更なし
1	後期	必修	1	英語リーディング2 (大神クラス)	* 大神	○		12	期末試験 (試験期間に行うペーパーテストの結果) : 50% 授業活動 (授業外学習と授業活動への取り組み状況を評価) : 50%	変更なし
1	後期	必修	1	英語リーディング2 (藤本クラス)	* 藤本幸治	○		12	提出課題 50%、定期テスト 50%	提出課題20%、定期テスト80% ただし、定期テストには平常提出課題のまとめの問題が含まれます。 注意点、定期テストには、平常課題に関連する問題が含まれるので、表記上は評価割合が低く見えても、平常課題をおろそかにしないこと。
1	後期	選択必修	1	ドイツ語2	阪本	○		12	・授業への参加態度 (授業、アクティブ・ラーニングに臨む姿勢、宿題や小テストへの取り組み方) … 50% ・授業内試験 (筆記、音読) … 50%	変更なし
1	後期	選択必修	1	中国語2	* 陳	○		12	授業内期末試験結果 (30%)、小テスト (30%)、授業への参加度* (40%) により評価する。 * グループワークにおいて、グループの一員としてアクティビティに参加しているか。また発話の順番がまわってきた際に、積極的に発話しているか。	変更なし
1	後期	選択必修	1	ハンブル2	* 李	○		12	課題40%、期末試験60%	変更なし
1	後期	必修	1	物理化学1	土井光暢		○	12	試験結果(100%)により評価する。	変更なし
1	後期	必修	1	分析化学1	天満		○	12	定期試験 (80%) とレスポンス演習・小テスト (20%) により評価する。	変更なし

令和4年度後期授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	面接授業 (教室間中継)	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
1	後期	必修	2	有機化学 1	和田俊一・浦田・宇佐美・平野・山田・米山・平田佳之・林淳祐・葉山・安田		○	15	定期試験 (90%) と課題 (10%) により評価する。	変更なし
1	後期	必修	2	生化学1	藤井		○	15	定期試験により評価する (100%)	変更なし
1	後期	必修	2	基礎細胞生物学	坂口		○	15	定期試験成績 (100%) により評価する。	変更なし
1	後期	必修	2	機能形態学1	藤森・大野・國澤		○	15	定期試験結果 (100%) により評価する。	変更なし
1	後期	必修	2	薬用天然物化学	谷口		○	15	定期試験結果 (85%)、復習課題 (10%) およびレポート (5%) により評価する。ただし、評価を受けるには定期試験の得点が60%以上であることが必須である。	変更なし
1	後期	必修	1	医療薬学導入学習	福森・駒野・井尻・幸田・加藤隆児・山口・柳田・田中早織・倉田	○		-	ローテーションで参加したテーマ (班) 毎に、担当した各教員が評価します。評価の仕方は班によって若干異なります。第1班では、その回の導入学習の最後に、実習内容の理解度を判定して評価・採点します (福森)。第2班 (幸田、柳田)、第3班 (井尻、加藤) では、テスト問題を含み小レポートに記載してもらい、形成的に評価・採点して後日返却します。第4班は小レポートで評価・採点します (山口、田中早)。第5班は実習参加態度3割・小レポート7割で評価・採点し、レポートは後日返却します (駒野、倉田)。以上の各班の点数を合計して最終的な評価点とします。全実習の出席で単位認定とし、定期試験は行いません。未受講がコマでもあれば、単位は認定されません。欠席となった場合は教員に連絡ください。別の機会に、欠席したテーマのみ受講して頂きます。	変更なし
1	後期	必修	1	基礎有機化学実習	宇佐美・平野・山田・林淳祐・安田	○		-	全7回 (オンデマンド1回を含む) の実習を出席した上で、平常点 (30%)、レポート (30%)、筆記試験 (40%) の割合で評価し、60%以上の者を合格とする。平常点は、担当教員が実験および講義時の態度、出席 (減点方式)、遅刻 (減点方式)、掃除担当時の行動を見て採点する。ただし、筆記試験およびレポートに関しては各配点率の6割をそれぞれの合格基準とし、それに満たない場合は再試験およびレポートの再提出を課す。	変更なし
1	通年	必修	1	早期体験学習	戸塚・中村敏明・井上薫・芝野・幸田・角山・加藤隆児・浅野・藤嶽・羽田・田中早織	○		-	施設見学・見学前後のSGD・発表会における態度30%、講義に関連したレポート等70%	変更なし
2	後期	選択	1	社会分析の基礎	* 銭廣	○		8	毎講義後提出のコメントシートの記述10%、期末レポート90%	変更なし
2	後期	選択	1	人間と宗教	* 鶴	○		8	1) 「定期課題」 (授業期間中: 4回) : 40% 2) 「期末課題」 (授業終了後: 1回) : 60% ※ 初回授業で詳しく説明するので、必ず出席すること。欠席する (した) 場合は、メールで連絡すること (☞ shinichi_tsuru@nifty.com)。	変更なし
2	後期	選択	1	文化人類学	* 中本	○		8	講義での姿勢およびリアクション・ペーパーの評価 (50%)、定期試験の結果 (50%)	変更なし
2	後期	選択	1	倫理と社会	阪本	○		8	・毎回の授業課題 (期限内の提出、回答内容の独創性と論理性) …70% ・最終回の授業内試験 (論述問題) …30%	変更なし
2	後期	選択	1	コーチング論	当麻	○		8	授業内で提出するレポート (60%)、小テスト2回実施 (40%)	変更なし
2	後期	選択	1	スポーツ・運動 2	当麻	○		8	身体活動量の確保、技能の向上 (50%)、コミュニケーションの度合い、マナー、礼節の実践 (50%)	変更なし
2	後期	選択	1	情報科学	* 林武文・* 下川・* 土井麻理子	○		8	各担当者が、それぞれの持ち分で100点満点の評価を行う。最終評価は、担当回数の荷重平均 (100点満点) とする。 ・林 (2回) : 毎回授業中に小テストを実施する。比率は、小テスト1回目: 50%、小テスト2回目: 50%。 ・下川 (4回) : 毎回レポートを課す。比率は、各回とも25%。 ・土井 (2回) : 毎回小テストを実施する。比率は、小テスト1回目: 50%、小テスト2回目: 50%。	変更なし
2	後期	必修	2	数理統計学	永田		○	15	課題(レポート、リアクションペーパー)20%と定期試験80%で評価する。	変更なし
2	後期	必修	1	英語スピーキング2 (天ヶ瀬クラス)	天ヶ瀬	○		12	薬学英語専門用語小テスト30%、筆記試験40%、英語暗唱 20%、提出課題 10%	変更なし
2	後期	必修	1	英語スピーキング2 (岩田クラス)	* 岩田	○		12	1. Recording assignments 10% 2. Mini quizzes and lesson answers 30% 3. Essay assignment with pair presentation 30% 4. Final examination (vocabulary and listening comprehension) 30%	1. Mini quizzes 10% 2. Midterm exam 20% Final exam 30% 3. Pair presentation 20% 4. Online study 10% Recording assignments 10% * 1、2、3は授業内評価 4は授業外学習評価 なお、1の小テストの点数は、毎回のリフレクションシートに記載の上提出すること。
2	後期	必修	1	英語スピーキング2 (Brothertonクラス)	* Brotherton	○		12	Evaluation will be in the form of attendance(25%), preparation given as homework(25%), assignments(25%) and class presentations(25%). (=100%)	変更なし

令和4年度後期授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	面接授業 (教室間中 継)	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
2	後期	必修	1	英語スピーキング2 (堀クラス)	*堀	○		12	小テスト (前週学習内容の確認小テスト、複数回授業をまとめて学習内容を確認する復習小テスト) 50%、毎週の授業のふりかえり (紙またはオンラインでの提出) 10%、スピーキングテスト (2回) 40%	変更なし
2	後期	必修	1	英語ライティング2 (スミスクラス)	スミス	○		12	課題提出 (30%)、小テスト (30%)、筆記試験 (40%)	変更なし
2	後期	必修	1	英語ライティング2 (Brothertonクラス)	*Brotherton	○		12	1. Class attendance 10% 2. Workbook assessments 10% 3. Homework and submissions 30% 4. Writing assignments 30%	変更なし
2	後期	必修	1	英語ライティング2 (堀クラス)	*堀	○		12	小テスト (前週学習内容の確認小テスト、複数回授業をまとめて学習内容を確認する復習小テスト) 60%、毎週の授業のふりかえり (紙またはオンラインでの提出) 10%、ライティング課題 (3回) 30%	変更なし
2	後期	必修	1	英語ライティング2 (楠瀬クラス)	*楠瀬	○		12	A. 授業での口頭発表などの活動30% (3点x12回=36点) B. 英文レポート70% (7点x12回=84点) (A+B) x 100/120で評価する。定期試験は実施しない。	変更なし
2	後期	必修	1	医療心理学	○川端		○	12	最終講義のレポート60% 小テスト40%で評価する	変更なし
2	後期	必修	1	物理化学3	友尾・尹		○	12	定期試験 (100%) の成績により評価する。	変更なし
2	後期	必修	1	有機化学3	浦田・宇佐美・平野・山田・和田俊一・米山・平田佳之・林淳祐・葉山・安田		○	12	定期試験結果 (90%) および毎回の小テスト (10%) により評価します。	定期試験結果 (90%) および演習回 (計3回) の小テスト (10%) により評価します。
2	後期	必修	1	有機スペクトル学演習	山田・浦田・宇佐美・平野・和田俊一・米山・平田佳之・林淳祐・葉山・安田		○	12	定期試験結果 (90%) と演習問題 (10%) により評価する。	変更なし
2	後期	必修	2	分子生物学	福永		○	15	定期試験 (90%) と復習課題 (10%) で評価する。	変更なし
2	後期	必修	2	衛生薬学1	奥平・小池		○	15	定期試験結果 (85%) と、講義中に実施する小テスト (15%) により評価する。	定期試験結果 (100%) により評価する。
2	後期	必修	2	基礎漢方薬学	芝野		○	15	定期試験結果 (85%)、レポート (15%) により評価する。	変更なし
2	後期	選択	1	多職種連携論2 - 医療と専門職	中村敏明・矢野・佐藤・角山・加藤・清水・小池・羽田・田中早織・田中智		○	8	レポート60%、受講態度40%	変更なし
2	後期	必修	2	薬理学2	大喜多		○	15	定期試験の成績により評価する (100%)	変更なし
2	後期	必修	1	生物薬剤学1	永井		○	12	定期試験結果 (90%) および演習課題提出内容 (10%) により評価する。	変更なし
2	後期	必修	2	薬物治療学2	加藤・福森・幸田		○	15	講義後の小テスト (30%) 及び定期試験結果 (70%) により評価する。	変更なし
2	後期	必修	1	物理化学実習	友尾・土井・尹・浅野・加藤巧馬		○	-	学習内容の理解度、実習に対する積極性、実習後に提出するレポートの内容および実習終了後に行う実習試験の成績などによって総合的に評価する。各評価の寄与率は以下の通りとする。 出席: 10%、レポート: 40%、筆記試験: 50%	変更なし
2	後期	必修	1	漢方・生薬学実習	谷口・芝野・平田佳之		○	-	実習試験の得点が60%以上、および鑑定試験の完答が8問中5問以上の者に対して、実習試験 (50%)、鑑定試験 (30%) およびレポート (20%) で評価する。	実習試験の得点が60%以上、および鑑定試験の完答が7問中4問以上の者に対して、実習試験 (50%)、鑑定試験 (30%) およびレポート (20%) で評価する。
3	後期	必修	1	異文化言語演習2 (城下クラス)	城下		○	12	発表内容=60% [訳出]、演習へのコミットメント=40% [短文論述/医療専門用語テスト]。訳出・短文論述についてはその都度コメントして必要に応じて修正を求め、基準を満たせる内容になるよう指導する。	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習2 (天ヶ瀬クラス)	天ヶ瀬		○	12	小テスト7回 (20%) 筆記試験 (40%) プレゼンテーション (30%) 課題提出 (10%)	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習2 (樹矢クラス)	*樹矢		○	12	授業での発表 (70%)、授業の予習 (30%) を元に、総合的に評価する。	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習2 (伊藤クラス)	*伊藤		○	12	最終試験 (60%)、プリント等の提出物および授業内の発表 (40%) により評価する。	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習2 (衛藤クラス)	*衛藤		○	12	小テスト30%、レポート30%、まとめの総合演習テスト40%	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習2 (鶴クラス)	*鶴		○	12	講義回数の2/3以上の出席を条件とし、授業での発表 (50%) と課題提出状況 (50%) により評価を行う。	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習2 (中本クラス)	*中本		○	12	各自担当部分の発表 (40%)、講義内における確認テストまたはレポート等の課題 (40%)、医療用語小テスト (20%)	変更なし
3	後期	必修	1	異文化言語演習2 (木村クラス)	*木村		○	12	発表内容...60% [提出課題の内容]、演習へのコミットメント=40% [訳出その他] 欠席は正当な理由のある、事前・事後の申し出のあったもののみ認める。	変更なし
3	後期	必修	1	医療統計学	細畑		○	8	100%定期試験により評価する。	変更なし
3	後期	必修	1.5	衛生薬学4	奥平・長谷井・○中野		○	12	定期試験100%で評価する。	変更なし
3	後期	選択	1	応用放射化学	大桃		○	8	定期試験結果 (100%) により評価する。	変更なし

令和4年度後期授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	面接授業 (教室間中継)	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
3	後期	選択	1	精密有機合成化学	宇佐美	○		8	定期試験の成績：90%、レポート（課題）点10%で評価する。	変更なし
3	後期	必修	1.5	医薬品化学 1	平野	○		12	定期試験90%、講義中の課題10%で評価する。	変更なし
3	後期	必修	1.5	薬理学 4	大喜多	○		12	定期試験の成績により評価する（100%）	変更なし
3	後期	必修	1.5	製剤学	戸塚・門田	○		12	最低限の出席（全授業の2/3以上）は試験を受ける上で必修。定期試験により評価を行う（100%）。	定期試験の成績により評価する（100%）
3	後期	必修	1.5	薬物動態解析学	宮崎	○		12	定期試験の結果より評価する（100%）。	変更なし
3	後期	必修	1.5	薬物治療学 4	幸田・駒野・矢野	○		12	講義後の小テスト（30%）及び定期試験結果（70%）により評価する。	変更なし
3	後期	必修	1	医療と法	城下	○		8	定期試験による評価（70%）と講義中の確認テスト（30%）の評価を合算して最終的な評価とする。細かい内訳は講義中に示す。小テストには授業への質問・意見を含み、基本的に毎回の授業で、前回の質問・意見についてリプライする。	変更なし
3	後期	選択	1	臨床化学	山口	○		8	講義終了後の確認テスト8回の成績で100%評価します。	変更なし
3	後期	選択	1	臨床生理学	*藤岡・*和田晋一	○		8	授業時間内に実施する計測技術演習（70%）と小テスト（30%）により評価します。小テストは各授業内容についての基礎的問題（選択肢問題）で、約5分間で実施します。新型コロナウイルス感染症の状況により遠隔授業となった場合は、提出課題（合計8回）により評価します。	変更なし
3	後期	必修	1	衛生薬学実習	奥平・佐久間・長谷井・山沖・小池・東	○		-	実習レポートの内容（90%）と、討議（態度）（10%）で評価する。	実習レポートの内容（75%）と、討議（態度）（25%）で評価する。
3	後期	必修	1	薬理学実習	大喜多・大野・清水・田和・河合・國澤	○		-	3分の2以上の出席を満たした上で、筆記試験、レポート、実習態度・意欲で評価する。ただし、①筆記試験（50%）、②レポートと実習態度・意欲（50%）の合格基準は各配点率の6割とする。	変更なし
3	後期	必修	1	薬剤学実習	戸塚・永井・宮崎・門田・本橋・内山・竹林	○		-	実習試験(30%)レポート(70%)。欠席・遅刻は原則認めないこととし、下記の全ての回に出席することが成績評価を行う上での前提条件とする。レポートの提出期限は厳守すること。	変更なし
4	後期	選択	0.5	先端分子医科学 2	藤森・駒野・土屋・小池	○		5	課題の提出状況、内容により評価する（100%）。課題は各講義の終了時に提示する。	変更なし
4	後期	必修	1	連携医療学	矢野	○		8	定期試験の成績70%、授業への参加姿勢30%（予習テストの成績10%、リフレクションシートの記載内容20%）で評価する。リフレクションシートの評価基準は第1回目の授業で配布する。	変更なし
4	後期	選択	0.5	アドバンスト薬物治療学 1	福森・駒野・幸田・加藤隆児・山口	○		5	各講義の最後に小テスト（5回、各20%、計100%）を行う。全ての講義でのこの小テストの点数を加算して、評価点を出す。なお、小テストを実施するにあたりWebツールを用いる場合がある。	変更なし
4	後期	選択	0.5	アドバンスト薬物治療学 2	井尻・岩永・天満・平野・山田	○		5	定期試験は行わない。 1コマで20点満点の小テストを行い、5コマで合計100点満点とする。 評価点の寄与率は100%（5回の小テストの合計点）とする。 ※なお、状況によりオンライン・オンデマンド（遠隔）講義となった場合、各配信講義後に小テストを行う。	変更なし
4	後期	必修	1	個別化医療	井尻・細畑・加藤隆児	○		8	定期試験は行わない。 1コマで12.5%の寄与率の小テストを行い、8コマで合計点が100点となるように換算し評価する。 評価点の寄与率は100%（8回の小テストの合計点）とする。 ※なお、状況によりオンライン・オンデマンド（遠隔）講義となった場合、各配信講義後に小テストを行う。	定期試験を行う。定期試験の成績寄与率は70%、forms課題のそれは30%とする。
4	後期	必修	1.5	コミュニティファーマシー	恩田	○		12	定期試験結果（80%）と各講義終了時に行う確認テスト（20%）により評価する。	変更なし
4	後期	選択	0.5	医療政策論	城下	○		5	講義中の確認テスト（100%）の評価を合算して最終的な評価とする。	変更なし
4	後期	選択	0.5	医療倫理論	阪本	○		5	・授業への参加態度（授業に積極的に臨む姿勢、課題への取り組み）…70% ・最初と最後の授業で行う自己評価と相互評価（ループリック）…30%	変更なし
4	後期	必修	0.5	薬学基礎演習	藤森	○		-	演習試験の成績などを総合的に評価します。具体的な評価の方法は開講時に薬学基礎演習ガイダンスで説明します。変更がある場合も、ガイダンスで説明します。	変更なし
4	後期	必修	1	臨床導入学習 2	和田恭一・井上薫・岩永・中村任・中村敏明・恩田・矢野・金・神林・栗原・角山・細畑・津山・羽田・庄司	○		-	実習評価表に基づいた評価（50%）、実習態度（40%）、小テスト（10%）の割合で評価する。	変更なし
4	通年	必修		統合薬学演習	矢野・中村敏明・土井・浦田・大野・戸塚・永井・岩永・中村任・藤森・天満・平野・福森	○		-	レポートの内容60%（発展課題に関する考察、演習後の省察）、グループワークの成果物25%（基本課題10%、EBM演習5%、発展課題10%）、グループワークへの取り組み姿勢（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、グループワークへの貢献度について、学生による相互評価）15%	変更なし

令和4年度後期授業の実施等に伴う成績評価方法

年次	期	必・選	単位	科目名	担当者 (*非常勤講師 ○兼任教員)	面接授業 (対面形式)	面接授業 (教室間中 継)	授業回数	予定していた 成績評価方法	成績評価方法 (変更後)
4	通年	必修		特別演習・実習		○		-	配属した研究室における研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、配属期間における研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。なお、「研究発表」の評価に際しては、プレゼンテーション能力に関するルーブリック表を取り入れて実施する。	変更なし
5	通年	必修		統合薬学演習	矢野・中村敏明・土井・浦田・大野・戸塚・永井・岩永・中村任・藤森・天満・平野・福森	—		-	レポートの内容60% (発展課題に関する考察、演習後の省察)、グループワークの成果物25% (基本課題10%、EBM演習5%、発展課題10%)、グループワークへの取り組み姿勢 (コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、グループワークへの貢献度について、学生による相互評価) 15%	変更なし
5	通年	必修	10	病院実務実習	中村敏明・福永・中村任・矢野・芝野・金・井上薫・神林・和田恭一・栗原・和田俊一・坂口・佐藤・角山・加藤隆児・津山・羽田	○		-	I.概略評価 指導薬剤師と実習生が、定期的 (2～4週間毎を目安) に、概略評価表を基に評価を行い、実習の振り返りを行うことで実習生がどの程度、何が成長したか評価する。 II.実務実習記録 (日誌・レポート) による評価 実習生は、毎日の日誌に自分がその日学習した内容、体験した事例、修得した能力等を簡潔に記録して指導薬剤師、教員等の指導者に提示する。指導者は、その日誌の報告で実習生の実習の進捗状況を確認するとともに、実習についてフィードバックを行う。実習生は、指導者からのアドバイスを受けて薬剤師として求められる臨床能力の成長を確認する。 III.合否に関わる成績の決定 大学では、実務実習記録に基づく評価60%、指導薬剤師による評価30%、到達度評価10%という割合で、総合評価を行う。	変更なし
5	通年	必修	10	薬局実務実習	中村敏明・福永・中村任・矢野・芝野・金・井上薫・神林・和田恭一・栗原・和田俊一・坂口・佐藤・角山・加藤隆児・津山・羽田	○		-	I.概略評価 指導薬剤師と実習生が、定期的 (2～4週間毎を目安) に、概略評価表を基に評価を行い、実習の振り返りを行うことで実習生がどの程度、何が成長したか評価する。 II.実務実習 (日誌・レポート) による評価 実習生は、自分がその日学習した内容、体験した事例、修得した能力等を実務実習記録 (日誌・レポート) に毎日簡潔に記録し、指導薬剤師及び教員等の指導者に提示する。指導者は、提出された当該記録の内容などに基づき、実習の進捗状況を確認するとともに、適宜フィードバックを行う。実習生は、指導者からのアドバイスを受けて薬剤師として求められる臨床能力を自覚し、自己成長の度合いを省察する。 III.合否に関わる成績の決定 大学では、実務実習記録による評価50%、学生との懇談内容10%、指導薬剤師による評価30%、学生のルーブリック10%という割合で、総合評価を行う。	変更なし
5	通年	必修		特別演習・実習		○		-	配属した研究室における研究活動の中で様々な「技能」を身につけながら、得られた成果のまとめとして「研究発表」の実施と「卒業論文」の作成を行う。評価項目として、配属期間における研究活動に対する「態度」、この間に身につけた「知識・技能」、さらに「研究発表」および「卒業論文」を評価する。各評価項目について、それぞれ別に定めた5つの評価細目を5段階で評価する。「態度」、「技能」の評価項目では、評価が1点の細目がそれぞれ2つ以下であること、および、「研究発表」、「卒業論文」については、1点の評価の細目数が2名の教員の合計で4つ以下であること、を合格基準とする。なお、「研究発表」の評価に際しては、プレゼンテーション能力に関するルーブリック表を取り入れて実施する。	変更なし
6	通年	必修	3	薬学総合演習	大喜多 (薬剤師国家試験対策委員長)	—		-	定期試験の結果に基づいて評価を行う (100%)。	変更なし